

目次

第1章	計画策定の背景～これまでの取組と今後の方向性～	1
1	東日本大震災の教訓	1
2	三重県における大規模地震発生の緊迫性	7
3	三重県のこれまでの地震対策	11
4	三重県緊急地震対策行動計画の成果と課題	13
5	国の地震・津波対策の取組方向	22
6	三重県の地震・津波対策の取組方向	26
第2章	計画策定の背景～地震被害想定～	28
1	対策上想定すべき南海トラフ地震の考え方	28
2	対策上想定すべき内陸直下型地震の考え方	30
3	今回の地震被害想定調査の特徴	31
4	今回の地震被害想定調査結果の概要	32
第3章	計画の基本的な考え方	59
1	目的	59
2	「防災の日常化」のあるべき姿	60
3	それぞれの取組主体に期待される役割	61
第4章	計画の基本事項	63
1	計画の位置づけ	63
2	施策体系	63
3	計画期間	65
4	進行管理	65

第5章 行動計画 66

- | | | |
|---|-----------|-----|
| 1 | 災害予防・減災対策 | 67 |
| 2 | 発災後対策 | 107 |
| 3 | 復旧・復興対策 | 152 |

第6章 「県民の命を守り抜く」ための選択・集中テーマ 165

- | | | |
|---|--------------------------------|-----|
| 1 | テーマ設定にあたっての基本的な考え方 | 165 |
| 2 | 基本方針Ⅰ：強い揺れへの備えと対策を行う | 167 |
| 3 | 基本方針Ⅱ：津波への備えと対策を行う | 173 |
| 4 | 基本方針Ⅲ：「防災意識」を「防災行動」に結びつける | 181 |
| 5 | 基本方針Ⅳ：災害時に特別な配慮が必要となる人々への対策を行う | 191 |
| 6 | 基本方針Ⅴ：発災後72時間の救助力・輸送力を強化する | 210 |
| 7 | 基本方針Ⅵ：命をつなぎとめるための災害医療機能を強化する | 225 |
| 8 | 基本方針Ⅶ：県民生活の再建復興への準備を進める | 233 |

第7章 減災効果 239

- | | | |
|---|------------------|-----|
| 1 | 施策推進による減災効果 | 239 |
| 2 | 減災効果の考察にあたってのまとめ | 259 |

(参考資料) 260

- | | | |
|---|-----------------------|-----|
| 1 | 三重県新地震・津波対策行動計画の策定の流れ | 260 |
| 2 | 用語の説明 | 263 |

※本文中、「*」が付いている語句は、巻末の「参考資料」に用語の説明を掲載しています。

コラム

インタビュー

震度とマグニチュード	9	中村 保親氏 (南が丘地区自主防災協議会)	76
過去の南海トラフ地震の津波教訓を今に伝える	10	福和 伸夫氏 (名古屋大学減災連携研究センター)	93
2階で寝ていて助かった ～逃げ出す時に切った足、入浴時に気づく～	74	川合 一明氏 (産学連携企業防災研究プロジェクト「きぼう会」)	105
家庭での防災対策の状況 ～平成25年度防災に関する県民意識調査～	75	尾中 弘明氏 (熊野市防災対策推進課)	133
194か所もの孤立地区が発生(岩手県)	121	西村 鎮雄氏 (大紀町防災安全課)	134
誰が何に困ったのかリスト ～震災時、誰が、いつ、どんなことが 発生したために、何に困ったのか～	122	宗片 恵美子氏 (特定非営利活動法人イコールネット仙台)	141
女性視点に立った避難所での洗濯支援 (宮城県)	140	山本 康史氏 (特定非営利活動法人みえ防災市民会議)	158
円滑に行われなかった避難所の運営・管理 (岩手県)	151	浅野 聡氏 (三重大学大学院工学研究科)	164
被災により日常的な生活機能も低下(宮城県)	151	畑中 重光氏 (三重大学大学院工学研究科)	172
すぐに着工できなかった仮設住宅の建設 (岩手県)	163	山本 浩平氏 (熊野市有馬町 中の茶屋・サントウン自主防災会)	180
なぎ倒された煙突にショック	171	川口 淳氏 (三重大学大学院工学研究科)	190
日頃からの防災意識が園児を救った(岩手県)	179	松田 慎二氏 (特定非営利活動法人ピアサポートみえ)	200
東日本大震災の発生後、全国に広がった 観光行動の自粛	207	和田 京子氏 (特定非営利活動法人伊賀の伝丸)	201
風評被害の払拭に向けた観光関係者の取組	208	山岡 耕春氏 (名古屋大学大学院環境学研究科)	209
困難を極めた災害対策本部の活動(岩手県)	215	室崎 益輝氏 (公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構)	224
状況に応じた災害対策要員の確保(石川県)	216	竹田 寛氏 (桑名市総合医療センター)	232
		末村 祐子氏(復興庁岩手復興局) 佐藤 稲満氏(大槌町安渡町内会) 岡本 翔馬氏(特定非営利活動法人桜ライン311)	238